

2 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム神苑
 平成22年3月16日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	終末期ケアへ向けての取り組みを、前年度より2年計画を挙げてはいるものの、スタッフ間での話し合いや終末期に向けての勉強と、終末期ケアの体制作りが未だ不十分で、看取りりを行うまでには至っていない。	終末期に対しての職員の意識・技術・知識の向上と、医療関係機関などとの協力体制作りを行い、看取りが可能となるようにする。	①毎月のミーティングやユニットカンファレンス時に、スタッフ間で看取りについての意見交換や家族の思い等を検討しあい、意識の統一を目指す ②訪問看護と契約し定期的な訪問や助言を得ると共に、協力医療機関などの体制作りを行う。 ③終末期ケアについての勉強会を行う。	1 2 ヶ月
2	26	家族や職員から情報収集し、半年に1回プランへ反映したり、又は状態変化時には介護計画を変更しているが、関わる職員の一人ひとりが、必ずしもプランを理解しているとは言いきれない。また転倒事故が重なって発生している。	①事故発生後の対策を共有し再発を防ぐ。 ②チームケア（統一したケア）を目指す。	①事故発生の詳しい経緯と対策をカンファレンスにて職員間で共有し再発防止に努める。（事故発生予防・再発予防マニュアル作成） ②各担当者にもプラン作成時、長期・短期目標作りへの関わりを持つてもらい、介護計画に対しての関心と意識づけを図って行く。	1 2 ヶ月
3	49	希望にあわせての外出の支援には努めてはいるが、昨年計画の家族同伴1泊旅行への同意が得られず、延期となっている。	①今秋頃に家族同伴旅行計画し実行する。 ②家族の協力を得て、担当者と共に個別での外出を計画実行する。	①家族会や面会時などで家族同伴旅行への取り組みなどを詳しく説明し、同伴旅行の意味する事への理解が得るように努める。 ②各担当者が利用者の希望或いは自宅への外出計画を管理者等の指導の下で行う。	1 2 ヶ月
4	36	管理者が、利用者の前で職員を叱責することがあり、利用者や家族に不安や不快感を与えている。	スタッフへの注意や指導は、利用者や家族から見えない所で行う。	スタッフに注意や指導の必要性がある場合で、急を要する時以外は、利用者や家族に不安や不快感等の影響を与えない様に配慮して、事務所などにスタッフを呼び指導・助言を行う。	1 ヶ月
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	終末期ケアへ向けての取り組みを、前年度より2年の計画を挙げてはいるものの、スタッフ間での話し合いや終末期に向けての勉強と、終末期ケアの体制作りが未だ不十分で、看取りを行うまでには至っていない。	終末期に対しての職員の意識・技術・知識の向上と、医療関係機関などの協力体制作りを行い、看取りが可能となるようにする。	①毎月のミーティングやユニットカンファレンス時、スタッフ間で看取りについての意見交換や家族の思い等を検討しあい、意識の統一を目指す。 ②訪問看護と契約し定期的な訪問や助言を得ると共に、協力医療機関などの体制作りを行う。 ③終末期ケアについての勉強会を行う。	12ヶ月
2	26	家族や職員から情報収集し、半年に1回プランへ反映したり、又は状態変化時には介護計画を変更しているが、関わる職員の一人ひとりが、必ずしもプランを理解しているとは言い切れない。また転倒事故が重なって発生して	①事故発生後の対策を共有し再発を防ぐ。 ②チームケア(統一したケア)を目指す。	①事故発生の詳しい経緯と対策をカンファレンスにて職員間で共有し再発防止に努める。 (事故発生予防・再発予防マニュアル作成) ②各担当者にもプラン作成時、長期・短期目標作りへの関わりを持つてもらい、介護計画に対しての関心と意識づけを図って行く。	12ヶ月
3	49	希望にあわせての外出の支援には努めてはいるが、昨年計画の家族同伴1泊旅行への同意が得られず、延期となっている。	①今秋頃に家族同伴旅行計画し実行する。 ②家族の協力を得て、担当者と共に個別での外出を計画実行する。	①家族会や面会時などで家族同伴旅行への取り組みなどを詳しく説明し、同伴旅行の意味する事への理解が得るように努める。 ②各担当者が利用者の希望或いは自宅への外出計画を管理者等の指導の下で行う。	12ヶ月
4	36	管理者が、利用者 앞에서職員を叱責することがあり、利用者や家族に不安や不快感を与えている。	スタッフへの注意や指導は、利用者や家族から見えない所で行う。	スタッフに注意や指導の必要性がある場合で、急を要する時以外は、利用者や家族に不安や不快感等の影響を与えない様に配慮して、事務所などにスタッフを呼び指導・助言を行う。	1ヶ月
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

